

古井の川通信

思いやる子 考える子 がんばる子

学校便り



出部小学校

R5.5.17

新年度の始まりに

新年度が始まり1か月が過ぎました。新しい学年、新しい先生、新しい友達。期待や不安を抱えていた子どもたちも、新しい学年での生活に少しずつ慣れ、気持ちも新たに生き生きと学校生活を送る姿が見られます。

今年入学した70人の1年生はというと、初めての小学校生活とは思えないほど落ち着いて生活しています。また、すべての学年でスムーズなスタートを切れたことを大変うれしく思います。

ただ、新しい環境で、まだ出会ったばかりの友達や先生と緊張を抱えながらの一日一日は、大人が考えるよりずっと大変なことだと思います。それでも笑顔で元気よく登校し、大きな声で挨拶をし、本当によく頑張っています。おうちに帰ったら、まずその頑張りをしっかりと褒めてあげてください。

先日、今年度赴任してきた先生から「出部小の子どもたちはよく頑張るね」と掃除という話がありました。縦割り班そうじの時、黙って掃除をしたり、汚れたところを見つけながら掃除をしたりする姿が目にとまったそうです。「もみじそうじ」(もくもくと、みつけて、時間いっぱい)の取り組みが身につく、子どもたちは当然のこととして行動しているのでしょう。それがいつの間にか、相手を幸せな気持ちにできていました。改めて子どもたちの「すてき」を実感することができました。

学校という場でともに過ごす意義は、学力を高めることも大切ですがそれだけではなく、豊かな心を育むことでもあります。今回話題にしたそうじに限らず、友達とのかかわりや学級・学校での役割などからも学んでほしいと願っています。



自分のいいところ



誰もがそうですが、ほめてもらえること、認めてもらえることは嬉しいものです。ときには、自分で気づいていないようなことを友達から言ってもらえて嬉しそうにしている子もいます。10の注意より1のほめ言葉の方が子どもをやる気にさせるのは確かだだと思います。ほめられることはどうして嬉しいのでしょうか。

それは新しい自分、今まで気づいていなかった自分のよいところに出会えるからではないでしょうか。学級の中で、「友達や先生が自分のことをそのように思ってくれていたんだ、だったらもっと頑張らなくちゃ」と思える機会があればそれは大きな励みとなり、大きな力となることでしょう。

私もそうですが、学校で心配なこと、気になることを見つけることはよくあります。しかし、子どもたちの頑張る姿やよいところはまんやり見ているだけでは分かりません。表面的に見えるちょっと気になることや心配なところを受け入れて、その奥にあるであろうよいところ、素敵なおところを見つけたいです。

保護者のみなさん、地域のみなさんも子どものいいところを見つけほめて認めていただくと、子どもたちの成長につながりますのでよろしくお願いします。

1年生を迎える会

4月27日(水)に、1年生を迎える会をしました。主役の1年生は、6年生のお兄さんお姉さんに横に並んでもらって入場しました。全校の前に並んだときはちょっと緊張気味でしたが、だんだんと慣れてきました。その後、全校児童は縦割り班に分かれて自己紹介をしたり、みんなで遊んだりしました。1年生は6年生から手作りの遊び券をもらい、とてもうれしそうでした。運動会の練習等を通して異学年の友達とも関わりを深めてほしいと思います。



交通安全教室がありました

4月24日(月)に、交通指導員の方にお越しいただいて、交通安全教室を行いました。以下の3つを意識して練習しました。



- ①1列で歩くこと。班長や副班長は、そうできるような歩き方や声のかけ方を工夫すること。
- ②登下校時には、自分から進んで地域の人にあいさつをすること。
- ③歩道横断時には、「手を上げて」「右左右」「進め」(右を見ながら進み、途中で左を向く。)

班長・副班長は、旗を肩の高さまで上げる。

練習したことを生かして、これからも安全に気を付けて登下校しましょう。



5月20日(土)は、運動会です!

今年の運動会のテーマは、『心を一つに輝け出部魂』です。

このテーマのもと、子どもたちは練習をがんばっています。子どもたちの元気いっぱいの演技や競技を観ていただきますよう、職員も子どもたちと一丸となって取り組んでまいります。引き続き体調管理等のご協力をよろしくお願いいたします。

